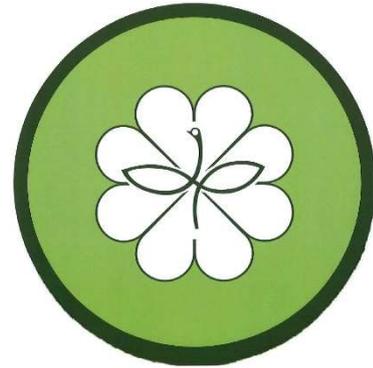


花時計(2025年度6回目(延569回))



◆ 民生委員・児童委員のシンボルマーク ◆

民生委員・児童委員制度は、1917年(大正6年)に岡山県で誕生した「済世顧問制度」を始まりとし、2027年(令和9年)には創設110周年を迎える、大変長い歴史を持つ制度です。

神戸市では、現在約2,300名の民生委員・児童委員が活躍しています。

民生委員・児童委員は地域の中で、暮らしの心配ごとや困りごとをお持ちの方に、同じ住民の目線で相談に乗り、その方に必要な支援の窓口へつないだり、住民の方が住み慣れた地域で安心して過ごしていただけるよう、見守りを行っています。

今年は、3年に一度の一斉改選の年にあたり、12月1日付けで新たに民生委員・児童委員が委嘱されます。

民生委員・児童委員の徽章などに用いられているこのマークは、幸せのめばえを示す四つ葉のクローバーをバックに、民生委員の「み」の文字と児童委員を示す双葉を組み合わせ、平和のシンボルの鳩をかたどって、愛情と奉仕を表しています。

図案

民生委員・児童委員のシンボルマーク

期間

2025年(令和7年)10月30日(木曜)～2025年(令和7年)12月3日(水曜)

使用花苗

コリウスライム(黄緑)	2,000株	シロタエギク(白)	300株
トウガラシ(深緑)	700株		
			計 3,000株